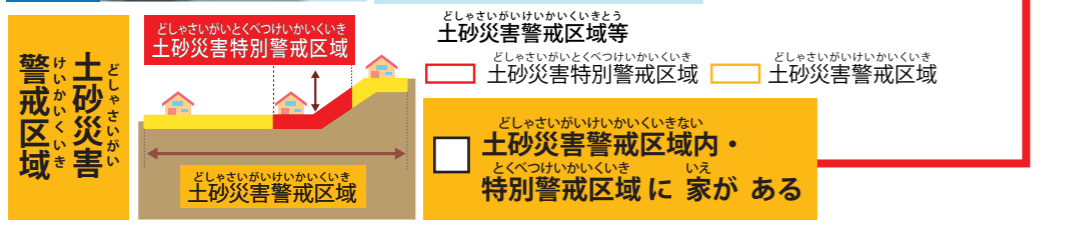
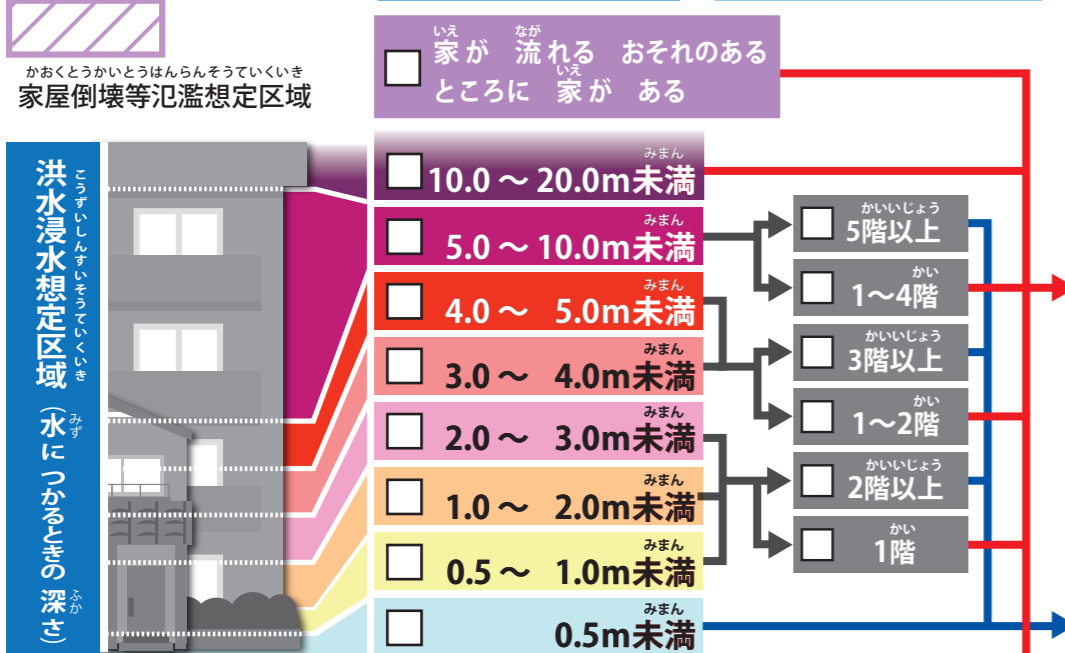


# 3-4 状況にあわせて にげましょう

## ハザードマップで にげることを 考えましょう

- 1 あなたの家の場所は 何色？
- 2 あなたの家は 何階建て？ (何階に 部屋が ありますか?)
- あなたの 家庭での 行動の 基準



**にげるときの 注意**

- ここに書いていることは、大雨がふったときの一般的な話です。あなたがあぶないと感じたらいちいちのちを守る行動を行ってください。
- 被害が起きると考えられていないところでも、絶対に被害が起きないとはいえません。
- 人から人にうつる病気など、災害によるあぶないこと以外のことも考え、にげる場所やにげる方法、にげるタイミングを考えましょう。

### にげるときの 注意

災害が起きてにげるときに一番大切なことは、「あぶないところ」へ「早いタイミングでにげる」ことです。「自分たちのいのちは自分で守る」という気持ちで、いつもおちついて行動ができるようにしましょう。

●天気などの情報やにげるための情報を集めて、にげるタイミングを考えてください。

●年をとった人や子ども、病気の人、からだの不自由な人は、早くにげてくださいます。にげるのに助けが必要な人を手伝いましょう。

●にげるときは、動きやすい格好で。ふたり以上でにげることを考えてください。

●外が暗かったり家を出たときに水があふれていたりするとどうなっているかわからないのでにげるのはあぶないです。できるだけ暗くなる前や水がまだあふれていないときににげてください。

●もし、にげおくれたときは、家や近くの丈夫な建物のできるだけ高いところへにげましょう。

●もし、にげおくれたときは、がけから一番遠いできるだけ上の階へ移動してください。

## 避難(にげること)について

避難(にげること)には、2種類あることを知ってください。友だちの家や指定避難所など近くの安全なところににげる「**立退き避難(水平避難)**」と家の2階やもっと上の階や近くのマンションなど、高い建物の上の階ににげる「**屋内安全確保(垂直避難)**」があります。

### 立退き避難(水平避難)

避難情報が発令される前(指定避難所開設前) [警戒レベル2まで]

避難情報が発令されたとき [警戒レベル3以上]

水があふれることや土砂災害が起きると書かれていないところにある安全な友だちの家などに避難しましょう。

指定避難所や、水につかる場所でも安全と考えられる知り合いや友だちの家などに避難しましょう。

### 屋内安全確保(垂直避難)

家が安全であると思っても、より安全な上の階へ移動することがにげることになります。外が暗かったり家を出たときに水があふれていて歩くことができないときは、家の外へにげるのはあぶないです。そのときは、家の2階やもっと上の階や近くのマンションなど、高い建物の上の階へにげましょう。

立退き避難は、災害が起きる前に しましょう。

あなたと 家族を 守るために

地震が 起きたとき

台風や大雨が 来たとき

わたしの 家の 防災計画

あなたと 家族を 守るために

地震が 起きたとき

台風や大雨が 来たとき

わたしの 家の 防災計画